

一人一改善運動について

1 概要

経営改革に向けた職員の自発的な取組みを促すために、病院局職員全員に、「こんなことをしたら経営健全化に資するのでは」「日ごろの業務遂行においてこんな無駄があるのでは」といったアイデアや事例を募集し、病院局全体で検討・実施していくものである。

この取組は、平成20年度から毎年実施し、今回で3年目となるが、日々刻々と変化する医療を取り巻く環境に的確に対応していくための積極的な提案がなされるなど、徐々に職員の意識も高まりつつあり、経営改善に良い影響を与えてきている。

2 募集期間

平成22年4月13日（火）～ 随時

3 応募状況

応募総数 74件

(内訳)

- ・経営改善に関するもの 43件
- ・業務改善に関するもの 18件
- ・意識向上その他 13件

(3カ年の状況)

(単位：件)

	経営改善	業務改善	意識向上 その他	合 計
20年度	55	34	14	103
21年度	47	12	4	63
22年度	43	18	13	74

4 主な採択事例（20～22年度）

年 度	提案概要	対応結果
20年度	医療秘書の導入	21年度に、3県立病院に導入した。
	病院局への薬剤師の配置	薬品等の共同購入の推進等の観点から21年度より経営企画課内に専門主幹を配置
21年度	院内の間接照明を直接照明にすることによる電気使用料削減	日南病院において不要な照明の消灯、照度過度の箇所を調査し、管球数の削減等を行った。
	窓ガラスへのフィルム貼付による室温上昇の抑制	院内の窓ガラスに、赤外線遮断効果の高いフィルムを貼付。その結果、窓際と室内中央部の空調温度差が解消した。
22年度	院内職員に対するインフルエンザ予防接種への対応	院内感染対策強化及び職員厚生の一環として、これまで実費負担だった職員へのワクチン接種費用について、全額病院負担とした。
	患者入院時の利便性向上を図るための小型カート導入	今年度、提案者の所属する病院などにおいて、小型カート数台を購入。
	経験看護師の募集要件緩和	今年度から、職務経験年数の短縮及び受験上限年齢の引き上げを行い、良質な人材確保に努めた。